

広報



12  
VOL.135  
平成28年(2016)  
Sayo Town Public Relations



# 降ろすもんか

11月13日に清林寺のもみじまつりで「米俵持ち上げ力比べ」が開かれました。(関連記事2ページ)



10周年を祝って風船を放った三日月地域づくり協議会

地域づくり協議会発足10周年。秋のイベントが開催

## 地域の絆で笑顔が集う



武者の甲冑に興味津々(上月地域づくり協議会)



餅まきでにぎわう(佐用地域づくり協議会)

皆さんが取り組んでいる協働のまちづくり。その母体となる地域づくり協議会が、発足して10年を迎えました。この間に培った地域の絆は、イベントに笑顔をもたらします。

10月23日には、佐用地区、上月地区、三日月地区の地域づくり協議会が秋のイベントを開催しました。

佐用地区では地域づくりセンターに店が並び、 피자作りや餅まき、ミニコンサートで参加者

はのどかなひとときを過ごしました。

恒例の上月城ふるさと祭を開催した上月地区には、甲冑姿の武者が現れ、勇ましく地区の発展を誓いました。

三日月地区は10周年の記念イベントを味わいの里三日月で開催しました。県警音楽隊のパレードや吉本芸人の漫才に多くのかたが集まりました。子どもたちが色とりどりの風船を空に放って、10周年を祝いました。

### CONTENTS 今月のもくじ

- 02 キラキラヒカル
- 03 クローズアップ
  - 03 地域の絆で笑顔が集う
  - 04 文化の輪 まちを包む
- 06 シリーズ 人と山とのつながりを見つめ直す
- 08 まちのわだい
- 10 まちの情報ホットライン
  - 10 生涯学習ひろば 12 今月の健康
  - 14 12月のお知らせ 18 暮らしの情報
- 20 笑顔の輪 わが家のアイドル



まちで輝く若者を紹介します Vol.39

## キラキラヒカル

関山成美さん(上町)

## 広がる人の輪が楽しい

関山成美さんは、JA兵庫西南光支店の窓口で、貯金や振り込みなどの業務をしています。「お客さんと話すのが好きなんです」と明るく話す成美さん。「名前を覚えてくれてたり、“ありがとう”と言ってもらったりすると、うれしくなります」とほほ笑みます。

お客さんの誕生日には「体に気をつけて、おいしいもの食べてください」と、花の種を添えたカードを届けます。

龍山神社のお祭りでは、屋台のそばで笛を吹いた成美さん。「ずっとお祭りの役をしているお父さんを見てると、私も頑張らないと」と、毎年笛を手にはしています。

大勢のかつぎ手やお囃子を奏でる人でにぎわうお祭りで「いろんな人との輪が広がるのがお祭りの楽しいところ」と、笛の音をそろえていました。

### COVER 今月の表紙



清林寺(家内)で11月13日にもみじまつりが開かれました。米俵を何秒間持ち上げられるかを競う力比べに、子どもから大人までが参加して自分の力を試しました。低学年の子どもは50キロの俵を膝の上に抱えてがまん。「俵を降ろさないぞ」と、歯を食いしばりました。

●「広報さよう」は 佐用町公式ホームページでもご覧になれます。  
アドレス <http://www.town.sayo.lg.jp>

## 佐用郡美術展 50 作品が入賞

11月17日から20日の間、さよう文化情報センターで、佐用郡美術展が開催されました。部門ごとの入賞者は次のとおりです。(敬称略)

### ●町長賞

日本画 前井かずや(宍粟市) 洋画 篠 忠敬(林崎)  
書 志水実千代(宍粟市) 写真 杉本博子(備前市)  
工芸 前川逸男(相生市)

### ●議長賞

日本画 三浦行子(たつの市) 洋画 岸本 晃(相生市)  
書 三枝真由美(栄町) 写真 藤花建夫(姫路市)  
工芸 寺本久香(早瀬1)

### ●教育長賞

日本画 水鳥保子(新町) 洋画 寺本三枝子(宍粟市)  
書 寺田茂雄(平福上町) 写真 萩原将弘(下長尾)  
工芸 小西治代(赤穂市)

### ●郡美術協会賞

日本画 篠由美子(林崎) 洋画 平野あさみ(早瀬1)  
書 小林悦子(仁方) 写真 清瀬いちろう(姫路市)  
工芸 遠藤 功(桜山)

### ●佐用ライオンズクラブ賞

日本画 松本洋子(新町) 洋画 衣笠光子(安川)  
書 野村恵子(大島) 写真 高倉 進(たつの市)  
工芸 深澤都紀美(上郡町)

### ●上郡佐用ロータリークラブ賞

日本画 蔭山泰子(山平) 洋画 古屋貴久子(美作市)  
書 菅原艶子(山脇) 写真 寺坂好司(赤穂市)  
工芸 坂元孝行(姫路市)

### ●奨励賞

日本画 山下 悟(宍粟市) 洋画 藤岡秀子(秀谷)  
洋画 高橋さえ(西山) 洋画 飛岡佐恵子(土井)  
書 丸山種美(仁位) 書 坂本則子(仁位)  
書 梅本美智子(奥金近) 書 横田和子(美作市)  
写真 川上敏之(高砂市) 写真 泉田英幸(姫路市)  
写真 古谷 昇(相生市) 写真 藤田敏幸(神戸市)  
写真 山本悦郎(高砂市) 写真 井関一文(安川)  
写真 黒田與四男(姫路市) 写真 津村 豊(上郡町)  
写真 尾川征男(備前市) 写真 堀内満枝(相生市)  
工芸 山本幸子(上郡町) 工芸 大崎章子(小山)



6日に開催した佐用ミュージック&ダンスステージで、ヒップホップを披露した PROTOTYPERS&RHYMING DEAD



ファッションショー「さようコレクション」で踊る佐用高校生と佐用保育園の子どもたち



柔らかい濃淡の作品が並んだ水墨画の展示



サンホームみかづき弦谷の里の銭太鼓



個性あふれる作品が並んだ絵手紙と手芸の展示



紫洲流日本明吟会による「詠富士山」の吟詠



ベリーダンスを披露した岡本沙弥香さん

cultural festival

さよう文化祭が盛大に開催

Monthly Pick up  
今月の注目

2

# 文化の輪 まちを包む

さよう文化祭が11月1日から7日まで、さよう文化情報センターで開かれました。  
3日の芸能発表には26グループが出演して、日ごろの活動の成果を披露しました。6日には佐用ミュージック&ダンスアンダプロロックシンガー、岡本隆根

さんをゲストに招いて、町の内外で活躍するアーティストがそれぞれの芸能を披露しました。作品展示は期間を2つに分けて公開しました。技巧を凝らした絵画や書など合わせて464点がならびました。文化活動は私たちの暮らしにうるおいと豊かさを与えてくれます  
皆さんも文化活動に参加しませんか。



作品を鑑賞する来場者

## 集落で山を守る 真盛集落

# ええ田舎にしたい

薬草や枝豆の栽培で元気が出るむらづくりを進める真盛集落が、「真盛里山保全の会」を作って集落の山の整備を手がけます。

昔はどの家もしばや新でご飯を炊いていたので、山の木はきれいに刈り取られていました。今は家のすぐ近くまで雑木林となっています。真盛集落では、一人暮らしの高齢者から「道を安全に歩けるよう山の木を刈ってもらえんやろか」と頼まれるようになったのをきっかけに、地域の福祉向上ときれいな里山づくりを目指して、グループが立ち上がりました。皆さんは「今わしらが動けるうちにやっとかんと」と意気込みを見せます。また、「集落の中や川の堤防に桜を植えて、ええ田舎にしたいんやけどなあ」と夢を膨らませます。

農繁期を避けた12月から2月の間、3年間計画でグループの試みが続きます。



高所作業車で木の枝を切る



真盛里山保全の会の皆さん

町内で山林の整備を始めたかたを紹介します

# 山で「ええこと」あります

町内のあちらこちらで、それぞれのスタイルで山を手入れするかたが現れました。皆さんが山仕事に、どう向き合っているのかお聴きしました。

## 先祖代々の山を守る 山本新一さん（宇根）

# ええ運動になる

山本新一さんは、昨年「木材ステーションさよう」ができたのをきっかけに、自宅近くの杉林を手入れしています。林の中で育った木のうち、途中で曲がっている木やシカが皮をはいだ木などを伐採します。倒した木は、およそ1.5mの長さに切って軽トラックに載せます。田んぼや畑仕事のあいまに山に入る山本さん。「週に2、3回ほどかなあ。軽トラに乗る分だけ持ってくるんや」と、木材ステーションで車に積まれた10本ほどの木を降ろします。

山仕事は危険を伴います。山本さんは以前に木を運んでいてけがをした経験から「今は気ままに無理せずやっています。ええ運動に



木材ステーションに木を運び込んだ山本さん

なるしね」と、ほほ笑みます。「光が入る林は気持ちがいい。山がよくなると体もよくなる」と、話しました。



シリーズ

# 人と山とのつながりを見つめ直す

町は山の資源を活用するための事業を始めています。皆さんの山に光を当ててみませんか。

間伐され下草が刈られた美しい里山（青木）

## 山の資源を活用する

土間のおくどさんや五右衛門風呂、居間のいろりなど、昭和30年代までは多くの家庭で、薪や炭が燃料に使われていました。山は貴重な資源で、町には山仕事を糧とした産業が成り立っていました。昔の山は人の暮らしに密着していて、山菜やアケビを採ったり虫を捕まえたりましたかたも多いでしょう。

人が山の木を使い始めたのは稲作が始まったおおよそ2千年前。食生活が豊かになり、燃料となる木を求めて、山の木を切り始めました。

しかし昭和30年ごろから便利な石油が燃料に使われるようになると、山から人が離れてしまいました。昔遊んだ山の姿が、全く変わっていることに驚きます。

雑木が生い茂った林は、大きな獣のすみ家となって獣害に悩まされています。日が差し込ま

ず下草のない山は、大雨が降った時には、土石流の発生や倒木の流出などの恐れがあります。

人が育んだ山林を、昭和30年後半ごろから「里山」と呼ぶようになった。里山の姿がどうあるべきか考えることは、うすれゆく山と人とのつながりを見つめ直すきっかけとなりました。

## 新しいまちづくり

町は、昔の里山のように山を資源として活用する事業を始めます。「おじいさんは山へしば刈りに」という生活には戻れませんが、木材は発電用バイオマス燃料として需要が高まっています。里山整備グループの支援や未利用木材の買取り、造林事業の推進で、新しいまちづくりにチャレンジしています。

問 農林振興課農林土木推進室  
☎ 82・0667



相手をめがけて、こん身の力でボールを投げる

## 作戦がうまくいった

子ども会ドッジボール大会を開催

上月体育館の2階観客席から、「頑張れ」という大勢の声が響きます。11月12日に開かれた子ども会ドッジボール大会に、町内から52チーム436人が集まりました。選手たちはボールを巧みに回し、相手にぶつけるチャンスをうかがいます。

高学年女子の部で優勝した三日月スマイルE9の太田里菜さん(茶屋)は「ふだん男の子と遊んでいるのが練習になったのかな。みんなと相談した作戦がうまくいった」と、勝利を喜んでいました。



ゴールを狙ってボールを打つ

## スポーツで交流を深める

障がい者のグラウンドゴルフ大会を開催

兵庫県身体障がい者福祉協議会西播ブロックは毎年、西播地域の市町でグラウンドゴルフ大会を開催しています。今年は11月12日に南光スポーツ公園で4市6町から約130人が参加して、個人戦で勝敗を競います。

町身体障がい者福祉協会会長の西坂越次さん(上町)は「日頃から練習している人が多いです。スポーツを通じて声をかけ合えるのがいいですね」と、話します。参加した皆さんは、プレーを応援したりたたえ合ったりして交流しました。



隣保対抗の障害物競争に力が入ります

## 大人と子どもと一緒に運動会

早瀬1集落がふれあい収穫感謝祭を開催

11月5日に早瀬けんこう広場で早瀬1集落のふれあい収穫感謝祭が開かれました。田畑の実りに感謝しようと昭和50年中ごろから続くお祭りに、里帰りした親子を合わせおよそ100人が集まりました。お昼にはお餅をついて温かい雑煮をいただきます。

午後は広場で運動会。子どもたちは慣れないリム転がしに悪戦苦闘。大人と子どもと一緒に、玉入れや障害物競走を楽しみました。

## 気をつけることを話し合う

チャコネットが喫茶を開催

関西学院大学の学生ボランティアグループ「チャコネット」が、10月30日に久崎商店街で喫茶を開きました。チャコネットの皆さんは平成21年の災害ボランティアをきっかけに、「さくら祭り」や「ザ・久崎市」に出店したり地区の皆さんと交流したりしています。

今回の喫茶では、振り込め詐欺の防止を話題として、集まった地区の皆さんと「不審な電話がかかってきたことがないか」や「気をつけたいこと」を語り合いました。



地区の皆さんの話に聞き入るチャコネットの皆さん

## 海の魚にわくわく

相生市の秋の稚魚調査に参加

あいおい播磨灘の里海づくり協議会が10月22日に開催した「秋の稚魚調査」に、町内の小学生10人が参加。いしま自然体験センターの浜辺で、相生市の子どもたち約20人と一緒に地引網を引き、捕まえた魚の種類と数を調べます。

金澤悠希さん(奥金近)は「どんな魚がいるかわからないからわくわくする」と網を引きます。途中で大きなボラが網から飛んで逃げたのは残念でしたが、タイやベラの赤ちゃんを捕まえました。



どんな魚がとれるか期待に胸膨らませて網を引く

## サイクリングで佐用を満喫

いなちくロングライドを開催

サイクリングイベント「因幡街道千種川(いなちく)ロングライド in 佐用」を、11月13日に開催しました。県内外の2府9県から279人のライダーが役場をスタート。ちくさ高原を越えて西粟倉村へ入り、国道373号線で平福から役場へ戻る約80kmを走り抜きました。

好天に恵まれた開催日。参加者は「川の景色や赤く染まった木がきれいでしたよ」と話します。道中の休憩ポイントでまちの特産物を食べて、秋の佐用を満喫しました。



平福の町並みを眺めながら走るライダーたち

**スポーツ** 第25回ビスラカップ  
少女バレーボール大会  
93チームが  
熱戦くりひろげる

11月5日と6日に上月体育館など8会場で開催された大会に、遠くは愛知県岡崎市から出場しました。1日目の予選を勝ち抜いた佐用JVCと久崎JVCが2日目の上位リーグへ進みましたが、惜しくも入賞を逃しました。



町内チーム代表が歓迎のあいさつ

**スポーツ** 第22回ビスラカップインディアカ大会  
インディアカを通じて  
交流の輪が広がる

11月13日に上月体育館で開催された大会に県内外の18チームが集まりました。他の大会で知り合ったチームに声をかけて輪が広がり、22年続けて出場するチームもあります。インディアカを通じて、他の地域のかたとの交流を深めました。



力のこもったスパイク

**学びの泉**

人権、スポーツの結果（町体協把握分）、イベント開催などの情報をお届けします

問 教育委員会生涯学習課  
☎ 82-3336

**人権**

12月4日から10日は人権週間  
考えよう 相手の気持  
未来へつなげよう 違いを認め合う心

毎年12月4日から10日までを「人権週間」として、さまざまな人権啓発活動を行っています。

「基本的人権」とは、人間が人間らしく生活するために、生まれた時からだれもが持っている権利です。お互いを思いやり、誰もが尊重される家庭や職場、地域について、改めて考えましょう。



**人権**

12月10日から16日  
北朝鮮人権侵害問題啓発週間

拉致問題をはじめとする人権問題の解決には、私たち一人ひとりの強い思いが必要です。

北朝鮮当局による、人権侵害問題に対する認識を深めましょう

**図書館**

今月の新着図書から司書がおすすめする3冊をご紹介します

**新刊情報**



『問題は英国ではない、EUなのだ  
— 21世紀の新・国家論』

▶著者 エマニュエル・トッド  
▶出版 文藝春秋

家族構造の変遷が明らかにする「国家」の重要性。ソ連崩壊、リーマン・ショック、アラブの春など数々の予言的中させた歴史人口学者が、独自の分析の秘訣を明かし、世界の未来を語る。



『ホイルでも！ペーパーでも！  
包み焼き』

▶著者 岩崎啓子  
▶出版 池田書店

食材を切って、包んで、焼くだけ。旨みがギュッと凝縮され肉も魚もふっくら。作りやすく便利な93レシピを紹介。



『脇坂副署長の長い一日』

▶著者 真保裕一  
▶出版 集英社

アイドルが一日署長を務める当日、不測の事態に直面。次々と連鎖する事件。捜査に奔走する副署長が、最後にたどり着く真相とは。

**Library info**

問 ☎ 82-0874

開館時間 午前10時～午後6時

図書館からのお知らせ

月曜日・祝日休館

12月、1月の休館日

● 12月 5.12.19.23.26.28-31

● 1月 1-4.9.16.23.30.31

**スウェーデン児童文学展**

『長くつ下のピippi』の生誕70周年を記念して、スウェーデンの児童文学の主人公たちを紹介したパネルを展示します。スウェーデン語による読み聞かせや、北欧のクリスマスや暮らしと文化についての講演会も開催します。

パネル展「スウェーデンがやってきた！」

●とき 12月25日⑩まで

午前10時～午後6時 ※月曜・祝日休館

●ところ 図書館、さよう文化情報センター  
講演会「ピippiのふるさとはどこ？」

●とき 12月10日⑩午前10時30分～正午

●ところ さよう文化情報センター会議室

●講師 横野菜々さん（宍粟市）※要申し込み

おはなし会 ※申込不要

■図書館司書

【小さい人（5歳以上）】

●とき 毎週日曜日 午後2時～2時30分  
12月のおはなし「こびととくつや」

【大きい人（小学3年生以上）】

●とき 毎週日曜日 午後2時30分～3時  
12月のおはなし「アディ・ニハアスの英雄」

■ボランティア「あそびせ隊」

●とき 毎週土曜日 午後2時～2時30分  
●対象 幼児、小学生

■年末特別貸出

12月14日⑩から27日⑩



## 健康カレンダー

### もの忘れ・心のケア相談など

場所：佐用町保健センター

月日	内容	時間
12/15 1/5	デイ・ケア（精神障がい者社会復帰訓練事業）	13:30～15:30

健康福祉課健康福祉推進室 ☎82-0661

場所：佐用町保健センター

月日	内容	時間
12/21	もの忘れ健康相談（要予約）	13:30～16:30

高齢介護課高齢介護室 ☎82-2079

場所：龍野健康福祉事務所

月日	内容	時間
1/6	こころのケア相談（要予約）	13:00～15:00

12/20  
1/10 エイズ・肝炎相談（要予約） 13:00～14:50

龍野健康福祉事務所 ☎0791(63)5142

### 赤ちゃんとお母さん

場所：佐用町保健センター

月日	内容	時間
12/16	ヨチヨチ健康相談（H27.12月生）	13:30～
12/26	4カ月児健診（H28.8月生）	13:30～

12/12	0歳児クラス（7カ月～1歳未満）	10:00～11:30
	0歳児クラス（2カ月～6カ月児）	10:30～12:00

12/12 すてきなママになるための教室 10:00～

1/5 すくすく離乳食教室（H28.6月生） 10:00～

場所：さよう子育て支援センター

月日	内容	時間
12/21	1歳6カ月児健診（H27.4～27.5月生）	13:00～

健康福祉課健康福祉推進室 ☎82-0661

※母子健康手帳は、健康福祉課健康福祉推進室で交付します。事前にお問い合わせの上お越しください。

### 休日救急当直医 12月▶1月初

急きよ変更となる場合があります

月日	医療機関名	電話番号
12/11	佐用中央病院	82-2154
12/18	佐用共立病院	82-2321
12/23	尾崎内科医院	77-0447
12/25	佐用中央病院	82-2154
12/30	佐用共立病院	82-2321

月日	医療機関名	電話番号
12/31	佐用中央病院	82-2154
1/1	佐用共立病院	82-2321
1/2	佐用中央病院	82-2154
1/3	佐用共立病院	82-2321
1/8	尾崎病院	77-0221

### news こんにちは 保健師です

今月のテーマ

100人に数人は発達障がい

「相談を受けて特性をいかに」



発達障がいとは脳の発達に関する生まれつきの特性です。人との距離がとりにくい、人の気持ちや分らない、新しい環境に慣れにくい…などの特徴がありますが、環境や年齢により異なります。

脳の発達のはらつきが大きすぎる場合、勉強や集団生活や会社で働くことなどに支障が起ります。

この発達のはらつきに気づかないまま、「わかっていないのにできない」のは「努力が足りないから、能力がないから」と言われていると思いが、自分の評価を下げてしまうことを「二次障がい」といいます。引きこもりにつながることもあります。

発達のはらつきがあるということには得意な部分もあります。あきらめずに相談を受けて特性を知れば、新たな可能性を探ることが出来ます。

12月8日に発達障がいについての講演会を開催します（18ページ参照）ので、ぜひご参加ください。

健康福祉課子育て支援室 ☎82-0341

世代を越えて地域みんなで健康づくり

## なつかしい味や食事療法を学ぶ

町は、「かまどごはん」と「さば寿司」を作る教室や「糖尿病の食事療法教室」を開催しました。

### かまどごはん教室

佐用マリア幼稚園の園児と保護者がいずみ会の指導でかまどごはんを作りました。

園児たちは初めて見るかまどでごはんが炊ける様子を見て歓声をあげ、おいしいおこげを味わいました。その後、枝豆をちぎってゆでてつぶした「こんにやくの枝豆あえ」や、掘りたてのさつま芋で「大学芋」を作り、佐用の秋の味覚を親子で楽しみました。

できあがったさば寿司はみんなで試食し、佐用の伝統料理を次世代へ引き継ぐ決意を固めました。

### 糖尿病食事療法教室

佐用中央病院の管理栄養士が講師となり、糖尿病の食事療法教室を開催しました。

参加者は、「材料の選び方や味付けがわかった。今後家庭で参考にしたい」と喜びました。



かまどごはんづくり

### さば寿司講習会

ママプラザの参加者とともに、さば寿司の講習会を行いました。

さば寿司に初めて挑戦する若いお母さんたちは、いずみ会員の指導で丁寧にさばの骨をとったり、酢飯を詰め合わせたりしました。

### menu 栄養士の食育献立メモ

今月の献立

やさしい味付けがおすすめ

「れんこん団子のみぞれ汁」



冬は根菜のおいしい季節です。れんこんの粘り成分は、粘膜を強くする働きがあり、細菌やウイルスの侵入を防ぎます。また、れんこんや大根に含まれるビタミンCには免疫力を高める効果があります。風邪がはやるこの時期に、ぜひいかがでしょうか。

【材料（2人分）】		
片栗粉	大さじ1	
鶏ひき肉	100g	塩こしょう 少量
れんこん	100g	だし汁 400ml
にんじん	20g	大根 100g
干しいたけ	1個	うす口しょう油
ねぎ	10g	小さじ2

【作り方】

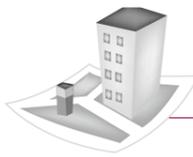
- れんこんは皮をむいて少量みじん切りにし、残りはおろして水気を切っておく。
- にんじん、水で戻しておいた干しいたけはみ



カラー写真は子育て支援サイト「さよっこネット」の食育情報でご覧になれます [さよっこネット](#) 検索

- じん切りにして、電子レンジで軽く加熱する。
- 鶏ひき肉と①と②、小口切りにしたねぎ、片栗粉、塩こしょうを混ぜ合わせ、丸めて団子にする。
  - だし汁を火にかけ③を入れ、火が通ったらすりおろした大根を入れる。
  - しょう油で味を調え、器に盛る。

一人分栄養価 エネルギー 154kcal  
塩分 1.3g



高齢者肺炎球菌ワクチン予防定期接種

肺炎球菌予防接種で肺炎の予防

monthly information

予防  
接種



肺炎は、日本人の死因の第3位。中でも肺炎球菌による肺炎は、成人の肺炎の25%から40%を占め、高齢者や慢性疾患をお持ちのかたは重篤化するおそれがあります。肺炎球菌ワクチン予防接種を受けて、肺炎にかからないようにしましょう。

●平成28年度の対象者

次の3つに当てはまるかた

- ①佐用町に住民票のあるかた
- ②平成28年度中に次の年齢になるか、または60歳から65歳で心臓、腎臓、呼吸器の機能や、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいのあるかた

- 65歳 (S26.4.2 ~ S27.4.1 生まれ)
- 70歳 (S21.4.2 ~ S22.4.1 生まれ)
- 75歳 (S16.4.2 ~ S17.4.1 生まれ)
- 80歳 (S11.4.2 ~ S12.4.1 生まれ)
- 85歳 (S6.4.2 ~ S7.4.1 生まれ)
- 90歳 (T15.4.2 ~ S2.4.1 生まれ)
- 95歳 (T10.4.2 ~ T11.4.1 生まれ)
- 100歳 (T5.4.2 ~ T6.4.1 生まれ)

- ③今までに成人用肺炎球菌ワクチンを接種したことがないかた

※5年以内に再接種を行うと、注射部位の痛みなどが強く出ることがありますので、再接種は5年以上間隔をあけて行ってください。※この制度は、平成30年度までに1人1回定期接種の機会があります。

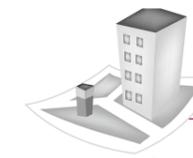
- 接種期間 平成29年3月31日(金)まで

●助成対象となる医療機関

町内の医療機関  
※町外の医療機関でも事前に役場窓口で申請すると助成を受けられる場合があります。

- 自己負担金 3,000円  
生活保護の受給者は無料です

問 健康福祉課健康福祉推進室  
☎82-0661



生涯で4回の接種が必要

日本脳炎ワクチンを接種しましたか

monthly information

予防  
接種

日本脳炎の定期の予防接種は、平成17年度から21年度まで、厚生労働省が積極的な接種勧奨を差し控えていました。そのため接種の回数ที่ไม่十分なかたがあります。生涯で4回の接種が必要ですので、対象年齢で回数が足りないかたは医療機関に予約して接種を受けましょう。

●日本脳炎ワクチン

(差し控えて未接種のかた)

対象 平成8年12月1日から平成19年4月1日生まれで20歳未満のかた

1期目の接種の受け方

1期の接種状況	1期の接種の受け方
0回のかた	3回接種 (6日以上の間隔をあけて2回接種、約1年後に1回接種)
1回接種したかた	2回接種 (6日以上の間隔をあけて接種)
2回接種したかた	1回接種

2期目の接種の受け方

1期3回の接種を受けた方は、主治医と相談し、1期3回目の接種後、数年あけて1回接種してください。

●予防接種実施医療機関

佐用共立病院・佐用中央病院・岡本医院  
長田クリニック・岡尾医院・尾崎内科医院  
織田医院

- 自己負担金 無料

問 健康福祉課健康福祉推進室  
☎82-0661

おめでとうございます

叙勲

長年にわたり、社会、公共に力を尽くし、受章したかたをご紹介します。

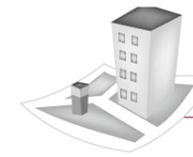
旭日双光章

森本和生さん(栄町)



昭和62年から町の合併を経て6期23年にわたり町議会議員を、議長と副議長を4年間務めました。町の合併では、合併のメリットを生かして4つの地域に格差が生まれないよう、研修や意見を聴くことに奔走しました。

受章を「皆さんから議員に選んでいただき活動を支えていただいたおかげ」と感謝。「将来にわたって自慢できるまちになってほしい」と願っています。



地域の安全安心を守る

消防団員と消防団員応援事業所を募集

monthly information

消防団

消防活動で私たちの町の安全と安心を守る消防団員と、団員を応援する販売店や事業所を募集します。

消防団員(男女)の募集

消防団員の任務は火災現場のほか、地震や水害など災害現場での活動、行方不明者の搜索活動、火災予防啓発活動などがあります。

自分たちの地域を自分たちで守る活動にあなたも参加しませんか。

活動中のケガなどの補償や退職金制度など福利事業も備えています。また、町には2人の女性消防団員が活躍しています。女性の入団もお待ちしています。



●消防団員になるための資格や要件

- ①18歳以上で、町内に在住またはお勤めのかた
- ②身体が強く健康で、団員として品位を保てるかた

「消防団員応援事業所」の募集

県消防協会は、消防団員を応援する地域の飲食店、物品販売店や事業所などを募集しています。

「消防団員応援事業所」は、県内で活躍する消防団員に特典やサービスを提供して団員を応援します。地域全体で消防団活動を盛り上げ、町の活性化に努めてみませんか。詳しくはお問い合わせください。

問 企画防災課防災対策室

☎82-0664



## 利神城跡等国指定推進事業

### 早期の史跡指定申請にご協力ください

monthly information

## 利神城跡

**町**教育委員会は、利神城跡などの国の史跡指定に向けた取り組みを、地域や土地を所有する方々にご協力いただいで進めています。

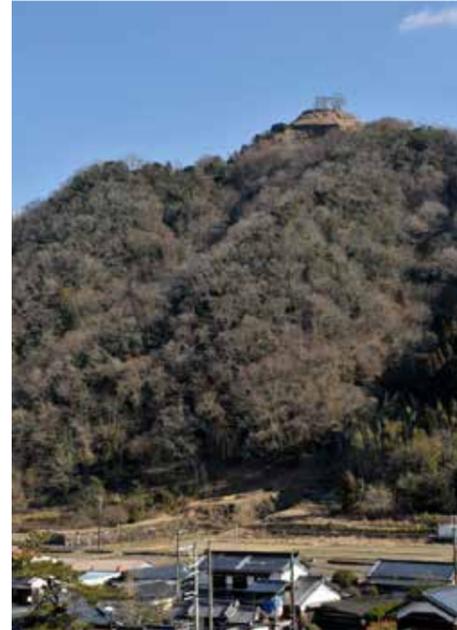
利神城の国指定文化財(史跡)の指定には、土地を所有する方々の同意が必要です。

町教育委員会は、史跡指定を早期に国へ申請できるよう長谷・平福地域の推進会議の皆さんとともに、土地を所有するかたに説明をして協力をお願いしています。

史跡指定は、利神城跡などの遺構を将来にわたって保存し、観光資源として活用したり後世へ歴史を伝えたりするための第一歩です。

今後も皆さんのご協力をお願いします。

☎教育委員会教育課 ☎82-2424



利神城跡の山城と山麓の御殿屋敷南石塁



## 事業者のかたはご協力ください

### 個人住民税の特別徴収

monthly information

## 住民税

**兵**庫県と県内すべての市町は、平成30年度から個人住民税の特別徴収を徹底します。従業員の個人住民税は、特別徴収で納めるようご協力ください。

特別徴収は、従業員の町県民税を給与から天引きし、事業主が従業員に代わって毎月納める方法です。

この制度は、地方税法および町の条例の規定で、所得税の源泉徴収を行う全ての事業主(給与支払者)に義務づけられています。

特別徴収が不要なケースは法令で定められており、事業主の希望に応じて特別徴収を行う・行わないを決めることはできません。

この度、県と県内の全市町が一斉に、平成30年度から特別徴収を徹底することになりました。まだ特別徴収をしていない事業主は、ご協力ください。

### 従業員の特別徴収のメリット

#### ■1回あたりの納税額が少なくなる

普通徴収では年4回に分けた納税ですが、特別徴収では年12回に分割して毎月の給与から差し引かれるため、1回あたりの納税額が少なくなります。※年税額は変わりありません。

#### ■納税の手間が省ける

毎月の給与から差し引かれるため、金融機関などへ納税に向かう手間が省けます。また、納期限を気にする必要がなくなり、納め忘れもなくなります。

☎税務課町税対策室 ☎82-0662

## 人がつながる 地域がつながる 佐用チャンネル



### 放送更新日

12月2日(金)  
16日(金)

子ども会ドッジボール大会

小笹 正晴	大谷 楓花	村上 達哉	田口 心絆	名前
正等	和正	聡洋	純基	保護者
東本郷	庵	宗行	大坪	自治会

10月18日から11月15日届出分(敬称略)

## お誕生おめでとう

戸籍上の漢字が表記できない場合があります

## 戸籍の窓口

### 11月のうごき

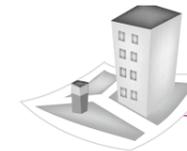
11月15日現在( )内は前月比	
人口	17,760人 (-20)
男	8,503人 (-9)
女	9,257人 (-11)
世帯数	6,934戸 (-8)

出生 5人	死亡 21人
転入 24人	転出 28人

## お悔やみ申し上げます

10月18日から11月15日届出分(敬称略)

植戸 勝治	船曳 テルヨ	山田 タマエ	松井 正和	蔭木 博子	椿 岩雄	椿 忠重	小林 はるの	高見 きよの	廣岡 敏雄	三宅 登美子	久保 かなこ	加藤 ヨシ子	岩途 秀夫	矢内 博	川村 淑子	太田 綾香
87歳	91歳	89歳	89歳	70歳	84歳	64歳	93歳	102歳	96歳	90歳	25歳	85歳	57歳	86歳	81歳	101歳
久保	春哉	船越	漆野	西徳久	安川	安川	小赤松	久崎	金屋	大垣内	奥海	下町	口金近	口長谷	川原町	中町
																自治会



## 屋外に露出する水道管や湯沸かし器は要注意

### 水道管の防寒対策で凍結破裂防止

monthly information

## 上水道

**気**温がマイナス4度以下になると、水道管の凍結、破裂の可能性が高くなります。寒さに備えて、早めに水道管の防寒対策をしましょう。

#### ■露出している水道管の防寒方法

保温材(布きれ・発泡スチロールなど)で覆い、濡れないようにその上からビニールテープを巻きましょう。また、給湯器に加熱式(電熱式)凍結防止器が取り付けられている場合、コンセントプラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。コンセントに差し込んでも電源ランプが点灯しない場合は、断線している恐れがあります。

#### ■湯沸かし器の水抜きをしましょう

温水器や湯沸かし器の中の水が凍って、器具を壊してしまうことがあります。凍結の恐れのある時は、お使いの器具の取扱説明書を読んで水抜きをしましょう。

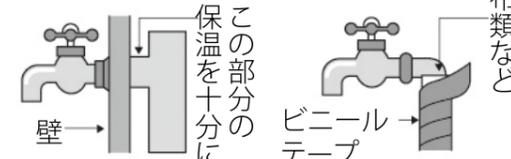
#### ■水道を長時間使用しない時

旅行などで留守にした家や、空き屋・空き部屋の水道を長時間使わない場合は、気温がマイナス4度にならなくても水道管や器具が凍結、破裂することがあります。

破裂した後に漏れた水の水道料金もかかりますので、止水栓を閉め、凍結しないようしっかりと水抜きをしましょう。

☎上下水道課管理運営室 ☎82-0481

#### 屋外水栓の保温



## 受賞 awards information

厚生労働大臣表彰  
岡本泰子さん(家内)



子育てをする母親の交流の場を昭和62年に作ったことや、町内唯一の小児科医として診療した貢献がたたえられました。

兵庫県知事表彰(優良自主防災組織)  
西徳久自治会



5年任期の防災委員を設け防災意識の高い活動を行ったことや、災害時の計画を、ふだんの行動から立てていることが評価されました。

## 編集後記

秋が深まり山の色が日に日に変わります。利神城跡は、草が枯れて石垣が良く見えます。朝霧がはれる前に平福を通ると、「雲突城」を思わせる天守跡が見ることがあります。「いいものが見れた」とうれしくなります。

今月号で紹介した記事を振り返ると、なんと文化やスポーツのイベントの多いこと。まちがにぎわっていたことがわかります。今年もいい秋でしたね。①

## 納税 tax premium information

### 今月の納期

固定資産税第3期分

納期限 **12月26日**☉

口座振替日は12月26日☉

☎税務課 町税対策室

☎82-0662

今月の納税相談日

**12月12日**☉

●受付時間

午前8時30分～午後5時

●受付場所 税務課

災害・盗難・失業や廃業などで納期限までに町税が納められない場合は、納税相談に応じます。

☎税務課 収納管理室

☎82-0662

保険料など

納期限 **12月26日**☉

●国民健康保険税(普通徴収)

●後期高齢者医療保険料(普通徴収) 第6期分

☎住民課年金・保険室

☎82-0660

●介護保険料(普通徴収)

☎高年介護課高年介護室

☎82-2079

## 行事 event information

### ザ・久崎市 2016

久崎地域づくり協議会・久崎市実行委員会・千種川ネットワークが共催で恒例の久崎市を開催します。地域住民手作りの年の瀬市をお楽しみください。

●日時 12月25日☉

午前10時30分～

●場所 久崎商店街周辺

※駐車場は久崎グラウンド

●内容 自治会などによる正月用品の販売や模擬店。ステージイベント

☎上月支所地域振興室

☎86-1210

### 定住自立圏構想事業

#### 圏域内特産品の料理教室

第1回目は、たつの市の大根、ニンジンなどを使った料理教室です。

●日時 1月24日☉

午前10時から

●場所 たつの市産業振興センター1階調理室

●定員 20人

●持ち物 エプロン、三角巾、タオル

●対象者 たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町に在住のかた

☎申込 たつの市生活研究グループ事務局

☎0791-64-3157

## 募集

invite information

たつの・宍粟・上郡・佐用

就職・定住応援フェア

2017 参加企業募集

若者の地元就職と地域企業の人材確保を支援するた

め、合同就職説明会を開催します。地域企業の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

●日時 3月23日☉

午後1時から4時

●場所 たつの市青少年館

●申込期限 1月10日☉

●申込方法 参加企業募集ちらし(町ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入し、FAXか商工観光課の窓口で申し込んでください。

☎申込 商工観光課商工振興室

☎82-0670

FAX 82-0492

### こころの健康づくり講演会

●日時 12月8日☉

午後6時30分から午後8時

●場所 南光文化センター

●演題 若者の自立のために～ひきこもりと医療～

●講師 深井光浩さん

(赤穂仁泉病院院長)

☎健康福祉課健康福祉推進室

☎82-0661

### 県立障がい者高等技術専門学院 学院生募集

身体や知的障がいのあるかたが、就職するための技術を学ぶ専門学院の学院生を募集します。

●対象 身体などに障がいのあるかた、知的障がいのあるかた

●募集科目 ものづくり科、ビジネス事務科、情報サービス科、総合実務科

●募集期間 12月13日☉から平成29年1月17日☉

☎県立障がい者高等技術専門学院

☎078-927-3230

## その他

others information

### 地方税の申告はeLTAXで

eLTAX(エルタックス)は、給与支払報告書など地方税の手続きを、インターネットを利用して行うシステムです。

eLTAXのサービスは無料で、手続きは自宅やオフィスから行えます。詳しい情報は、eLTAX ホームページをご覧ください

☎eLTAX ヘルプデスク

☎0570-081459

### 防災行政無線戸別受信機

各戸に設置している防災行政無線の戸別受信機で▽放送が聞こえにくい▽外付けスピーカーを使用している場合は、平日の午前9時から午後5時までに次へ連絡してください。

☎防災行政無線サポートセンター

☎71-0996

総務課広報室 ☎82-2549

### 年末年始のごみ処理業務 地域の収集

ごみ収集カレンダーの通り実施します。

直接搬入(要予約)

●埋立ごみ(陶器、ガラス類) ⇒佐用クリーンセンター(佐用坂)

休業日 12/29～1/3

●埋立ごみ以外

(もえるごみ、もえないごみ、粗大ごみなど)

⇒にしはりまクリーンセンター(テクノ)

休業日 12/31～1/3

☎予約

にしはりまクリーンセンター

☎79-8550

佐用クリーンセンター

☎82-0293

### 広報アンケートにご協力ください

町の広報活動へ皆さんからの意見をうかがうアンケートを、本誌に折り込んでいます。皆さんの声を聴かせてください。

インターネットでも「佐用町 アンケート」のキーワード検索で開くページで回答できます

☎総務課広報室

☎82-2549



### Pick up 南光歯科保健センター 8020 達成者とよい子よい歯の表彰式を開催

8020 運動の表彰式は、生涯自分の歯で食べる楽しみを味わえるようにと平成2年から続いています。今年は11月13日に南光文化センターで開催し、62人が受賞しました。3歳児健診で虫歯のなかった「よい子よい歯」には、73人が受賞しました。

式の後には、紙芝居で歯の大切さを学び、佐用ウィンドアンサンブルの演奏を楽しみました。



良い歯の表彰を受ける子どもたち



# 笑顔の EGAO NO WA 輪

VOI.55

いずみ会 なでしこ

## ふるさとの味を伝えたい



研修会で町保健センターに集まったいずみ会なでしこのみなさん

「トントントン」と、保健センターの調理室に野菜を切る音が響きます。いずみ会なでしこの皆さんは、町の食育活動を進めながら、料理を楽しんでいます。

平成10年ごろに県いずみ会のリーダー養成講座を受けた方々が、講座を修業した後も「もっと料理を楽しみたい」と、活動が始まりました。代表の門元美里さん(多賀)は「料理のレパートリーを増やしたかったしね」とほほ笑みます。あちらこちらからの知り合いに声をかけて集まったメンバーは50歳代から80歳代の10人。月に一度上町集落のリバーステーションに集まります。気の合う仲間が集まれば話は尽きません。次の活動

### 笑顔でまちを彩ろう

で作る料理のほかにも、料理に使う野菜の作り方も話題に上ります。

活動では若いお母さんたちとさば寿司や赤飯を、中学生といなり寿司などを一緒に作ります。作った後は料理をいっただいで交流します。交流を通じて食育を進めることはもちろんですが、門元さんは「行事ごとに作っていた昔ながらの味を伝えられたらうれしい」と話します。

「ふるさとを感じてほしい」。なでしこの味に込められたメッセージです。

なでしこの皆さんは、一緒に料理を楽しむかたを募集しています。

健康福祉課健康福祉推進室  
82・0661

## わが家のアイドル

みろく  
**藤原実力**ちゃん  
(平成24年4月21日生)

たける  
**藤原尊来**ちゃん  
(平成28年5月22日生)

今年5月に尊来が生まれました。これからは兄弟仲良く、力を合わせて大きくなろうね。元気で楽しい暮らしをしよう

父 隆博さん 母 はつきさん — 中島 —



「広報きょう」は、環境にやさしいソイ(大豆油)インキと再生紙を使用しています。今月号の印刷費は、1部約22円です。